

2023年2月7日(火)～3月24日(金)

9:00～17:00 月曜日休苑

碧南市哲学たいけん村無我苑

瞑想回廊

主催：碧南市・碧南市教育委員会

お問い合わせ 哲学たいけん村無我苑

☎0566-41-8522

天

地初

發

時之

アマツチハジメテアラハレシトキ

サカオ・ケンジ展

日本神話を造形する



心の豊かに神文化を継承する施設  
碧南市哲学たいけん村  
無我苑  
MUGAEN

# 日本神話を造形で発掘する

歴史の研究者は文献などの資料や神社や古墳など遺跡の取材により、文字で日本神話を読み解いてゆく。一方、2014年から始まった美術作家サカオの取り組みは、造形で日本神話を読み解く作業だった。彼がまず着目したのは、本展示にも登場しているアマテラスの復活を描いた「天岩戸—アマノイワト」だった。どの注釈本にも書かれていた通り、アマテラスは弟神スサノオの行為に辟易し天の岩屋に籠ってしまい世界が暗くなる。どうしたものか？ と神々は知恵を絞り、天安河原でアマテラスを外に連れ出す作戦を決行。肌を晒して踊る女神アメノウズメを八百万の神々が笑い騒ぐ。

## 天岩戸を開けたのは誰か？

何事ぞ？ と不審に思いそつと岩戸を開けたのはアマテラス自身だった。タヂカラオ（手力雄命）はアマテラスの手を取り岩屋から連れ出しただけであった。少だけ開けたのはアマテラスだが、さらにタヂカラオがこじ開けたかもしれないが、古事記は多くを語らない。そんな書物だった。

## 古代人の残したフリー素材

美術作家サカオは語る。「古事記などの書物を読み解きながら、欠落した部分を自由に補いイメージし、アニメーションや漫画、お芝居、造形、音楽などで私たちは創作し楽しむことが出来る」

## 古事記は再生の物語

裸で踊る女神アメノウズメのオブジェはベースにはスーパーの農産部門で使われていたフロッコリーの人っていた発泡スチロールの箱を再利用、その他も過去の作品をポリウムアップして制作。サカオは言う。「古事記は復活と再生の物語」と。今後も彼の廃材利用での神話造形が繋がってゆく。

本展示では、アマノイワト、アメノウズメ、造化三神、スサノオのヤマタノオロチ退治や陶器と紙製の八百万の神々のマスクを含めると約400点の作品が並ぶ。



陶芸家・柴田雅光氏との  
コラボ作品  
「DTの古代史はカワイイ」

## サカオ・ケンジ

1967年名古屋市生まれ一宮市育ち

1990年ごろより一宮市を離れ、三河刈谷市で画家としてスタート。

現在は刈谷市を離れ、一宮市で繊維工場跡地の「のこぎりニ」で工房を間借りし、日本神話や古代史をモチーフにした立体作品などを制作。春日井市在住。

### <個展>

- 柴舟画廊(刈谷市)
- ギャラリーがらんす(名古屋市)
- ギャラリーDEN(大阪)
- 志摩画廊(京都)
- 花うさぎ(岐阜市)
- ニューヨーク(知多市)
- イマ辛画廊(福山市)
- ギャラリー410(安城市)

- のこぎりニ(一宮)
- カフェギャラリー Dante(一宮市)

### <グループ展>

- 海月文庫(大阪)
- アートアンドユー(知多市)
- 松原神社(春日井市)
- 人人展(呼びかけ出品・東京都美術館)など

